

サンデンフォレスト視察研修報告

申請者：サンデン株式会社

実施日：令和6年11月4日 午前10時から午後3時

参加者：14名 国安俊夫、酒井千富、上田優希、奈良由香子、西村良子、本多洋治、常見智之、高橋洋子、井上金治、金子昭一、平田綾香、横田渉、西村豊、中島啓治
+1名 福田博一様（サンデンフォレスト講師）



2002年「環境と産業の矛盾なき共存を実現した森の中の工場」をコンセプトに、スイスで誕生した近自然工法で造成した。異なる生態系が発生する土台を作り、後は自然に任せて行っている。
管理方法として、いくつかのゾーンに分けてその機能や目的に合った管理を行っている。

モニタリング調査

蛭、中大型哺乳類、アカガエル卵塊を対象にモニタリングサイト1000里地里山調査を実施。中大型哺乳類は自主調査も実施し、各ポイント箇所に監視カメラを仕掛けている。造成後は種数調査を実施し、種類数は増加した。種数が回復した現在は、指標種調査を行っている。

活動

地域の学校の校外学習（年間50校）、年4回前橋市からプログラムを要請、環境省・県林政課と連携した活動もされている。



ビオトープ

防災用の調整池をビオトープ化し、多様な生物が生息できるように目指している。

30by30 の登録

2022年都市緑化機構から情報を得て、30by30 アライアンスに加入。自然共生サイトの試行版に協力をし、2023年自然共生サイトに認定、OECMに登録される。

しかし、30by30に登録されたがメリットはない。様々なところに広めて申請してもらえば、メリットを付けないといけない。環境省ではそのための検討会も開催し、そのひとつとして、支援を受けたい自然共生サイトと支援したい企業等のマッチングを始めた。成立した例として「みんなの森プロジェクト×トランスコスモス」がある。



なお、エコを意識して行うために、9名の方が電車とバスを利用して参加、終了後希望者で反省会を行った。